

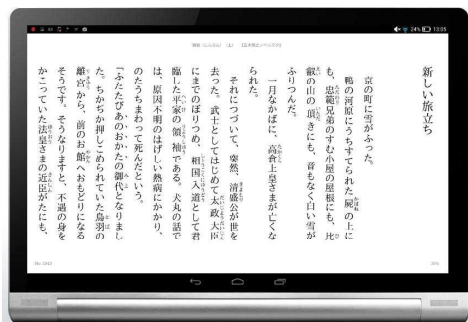


重誓寺報

第30号 平成26年12月発行

浄土真宗 本願寺派 (西本願寺) 重誓寺
じゅうせいじ

大阪市旭区中宮2丁目4番19号
電話・FAX 06(6951)0090



五木寛之著「親鸞」を読みました。発行からすでに数年経っていますが、初めて電子書籍で何か読んでみようと思った時に目にとまったのがこの本でした。電子書籍とは、パソコンやタブレット端末の画面で読む本です。今まで本はちゃんと手にとって読むものだと思っていました。試してみると結構快適で手軽に読むことができました。小さな字が見えにくくても、文字を大きくも出来ません。

本の内容は、親鸞聖人の生涯に沿った話ですが、あくまで小説です。実際には存在しない人物や出来事も描かれており、劇的なストーリーになっていきます。読み始めは違和感もありましたが、浄土真宗について博学な五木寛之氏ですので、実際にそのような事も有ったのかもと考えさせられ、物語に吸い込まれるように読めました。歴史上の話は記録に残る出来事だけしか私たちがは分かりません。実際に波瀾万丈な人生を送られた親鸞聖人ですが、このように細かに描かれた姿を見ると、そのご苦労がますます感じられました。

上下巻を読み終えてから分かったのですが、まだ続編として激動編、完結編のそれぞれ上下巻があり、しばらくは読書三昧となりそうです。手軽な電子書籍ですが、欠点としては、今どの辺りを読んでいるのか分かりづらいことと、読み終えた時に裏表紙を閉じる満足感が無いことでしょうか。



法座のご案内

重誓寺では毎月、二十日

(三、五、九、十一月は二十日、二十一日)

法座が勤まります。

勤行約三十分、法話約一時間

浄土真宗にとって一番大切なことが、
仏法を聞くこと、いわゆる聴聞であります。
椅子席でお参りいただけます。

常例法座

十二月二十日(土) 二時、七時

講師 中西昌弘 師

一月二十日(火) 二時、七時

講師 足利孝之 師

二月二十日(金) 二時、七時

講師 義本弘導師

修正会しゅうせいえ(元旦会)

元旦 午前八時より約一時間

お勤め、法話、流盃

大晦日は午後十一時より

一日午前一時まで開門致します。



心に残った法話のお言葉

人生はただ一度であり、不思議に頂いた命です。生まれようとして生まれた人は一人もいません。ふと気づけば人間の命を頂き、おぼろそしておぼろげにあらゆるご縁が重なって浄土真宗のお法を聞かせて頂く機会を頂いた。本当に不思議なご縁であります。

(八月 石川欣也師)

人はつい自分が先に立ち、親や仏様が後回しになってしまいます。そのことに気づかせて頂くのが彼岸から届けられる南無阿彌陀仏であります。この道を行けとおっしゃるお釈迦様、汝を守らんと喚ばれる如来様。その中に日々を送らせて頂くことが安心であり慶びなのです。

(九月 巖水法乗師)

過去に對してこんなはずでは無かった、現在に感謝も無く、不平不満で過ぎすし、未だ見ない未来に取り越し苦勞ばかりする。私の立ち位置が見えず自覚が無い。その気づかない私に、そのまま終わるのでなく、迷いを転じて救いと安心を与えたというのが阿彌陀様のはたらきなのです。

(十月 宏林晃信師)

親鸞聖人 和讃の教え

南無阿弥陀仏をとのなふれば

この世の利益りやくきはわもなし

流る転てん輪りん廻ねのつみきえて

定じよう業ごう中ちゆう天てんのぞこりぬ

(浄土和讃)



南無阿弥陀仏を称えれば、この上ない大切な導きをいただいて、輪廻りんねの因いんである煩惱からも解き放たれ、人生が半ばで虚しく終わるということがありません。

親鸞聖人が書かれた浄土和讃の中でも、現世利益和讃と呼ばれる十五首の中の一首です。

浄土真宗では現世での利益を追求することを否定します。お念仏することで健康になつたりお金が儲かるということはありません。お念仏は私から仏様に向けた呪文の

ようなものではなく、あくまでも如来さまから私へ賜る救いの働きであります。

私たちはそのお念仏により、仏となり、浄土へ生まれることを約束された身なので、そしてお念仏する者を十方世界の諸仏方が慶び守って下さることが利益と説かれています。

よく年末になると宝くじがお仏壇に置かれてあるのを見かけることがあります。当たって欲しい気持ちはよくわかります。

しかし私たちは現世での金儲けよりも、もっと大切な「後生の一大事」があります。それは全ての人に訪れ、避けて通ることが出来ないものです。どうぞお念仏による利益に気づかせて頂き、感謝の生活を送りたいものです。

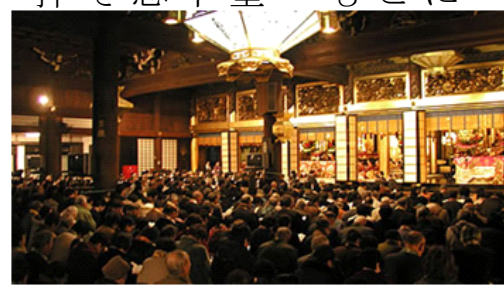
元旦の修正会では、正信偈と現世利益和讃をお勤めいたします。どうぞお参り下さい。

西本願寺 御正忌報恩講に
お参りしましょう

榎並組(旭・城東・都島)
仏友の会

「報恩講」は浄土真宗の、
み教えをいただく私たちに
とって、宗祖親鸞聖人のご
遺徳を偲ぶ一年でもっとも
大切な法要です。

毎年、西本願寺では親鸞聖
人のご命日に当たる一月十
六日までの一週間「御正忌
報恩講」が勤まります。そ
の尊いご縁にご一緒に参拝
させていただきますように。



日時 一月十五日(木) 日中法要

八時頃順次バスにて出発

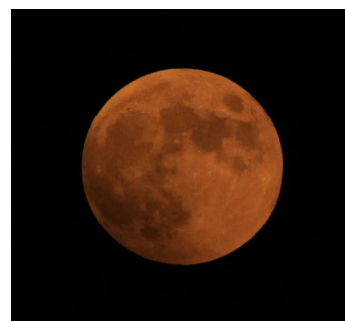
行程 西本願寺法要参拝 昼食(京都)

ガーデンパレスホテル 東本願寺参拝

涉成園見学 帰阪(午後五時頃)

参加費 五千円(懇志を含む)

締め切りが迫っておりますので、希望者は早急に
重誓寺までご連絡下さい。
定員になりましたらお断りすることもあります。



赤く見える
皆既月食

10月8日
皆既月食



終了後の満月



開始から終了まで連続写真(3分ごと)

重誓寺 HP <http://juseiji.net> E-mail info@juseiji.net
寺報はバックナンバーを含め、ホームページでご覧いただけます。
ご意見、ご質問等がありましたら、メールでもお寄せ下さい。